

年末・年始の保護者と受験生の過ごし方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 保護者の過ごし方

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)明日はクリスマスですね。そして、26日の月曜日には多くの学校で終業式が行われると思います。この日は、子供たちにとっては楽しくもあり、また、少し辛くもあるかもしれません。それは、通知表をもらう日だからです。
- (3)子供たちは通知表の内容を随分と気にしています。そこで、お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんなど大人の方をお願いしたいのは、お子さんの通知表を見たときに「よくがんばったね」と、まずは十分にほめていただきたいということです。
- (4)前の学期よりも成績が下がったところにばかり目がいき、「何だ、これは」などと怒り始めてしまうと、子供はたまったものではありません。子供は成績が下がったところを自覚していますので、まずは成績の上った科目や項目など、学校から高く評価されているところを探して、「2学期はよくがんばったね。3学期もがんばるんだよ」と言っていただきたいのです。
- (5)成績の下がったところやあまりよくないところを最初から指摘するのではなく、よいところを探してほめる、これが子供への接し方のコツですので、よろしくお願いします。
- (6)具体的には、3つか4つほめたあとに、弱点科目について「この科目は成績が下がってしまったんだね。次の学期はここをがんばろうね」と少し注意を与えるのが一番よいと思います。
- (7)反対に、通知表をもらった日、つまり2学期の終業式の日には頭ごなしにガミガミ、ガミガミと怒られ放しですと、何歳になっても子供はたまりません。そこで、クリスマスやお正月があるのであまり大げさなことはしなくてよいでしょうが、もしできれば、成績のよかった子の場合は夕飯の献立を1品増やして「よかった会」をしたり、成績が下がった子の場合は「残念会」を開いたりしていただくと、心温まる終業式の日行事になると思います。このような心温まることをすることが、子供を育てるときの大事なポイントの1つになるのではないのでしょうか。
- (8)受験生をお持ちの皆さんに特にお願いしたいことは、受験生のお子さんに対してあまりガミガミと言わないでいただきたいということです。高校入試は、北関東の各県では1月4日ぐらいから私立高校の学業特待入学試験が始まります。試験までは10日程しかありませんから、中学校3年生の皆さんはピリピリしています。そのような状態の子供たちに向かってガミガミ言い始めると、子供たちも驚いたり切れたりしてしまい、親子で大ゲンカになります。一度親子ゲンカが始まると、子供は落ち着いて勉強できなくなり、2～3日は勉強時間が削減されてしまいます。ですから、くれぐれもお子さんとは勉強のことでケンカにならないようにしていただきたいと思い

ます。今から「受験生なのになぜ勉強しないんだ」などと小言を言っても、遅いですからね。

受験生には、親の方から「おはよう」とか「行ってらっしゃい」、「おかえりなさい」、「おやすみなさい」などと元気にあいさつをしてあげるとガミガミ言うよりは、はるかによいと思います。

もし子供に勉強をさせたいのであれば、親自身が新聞や本を読んだり、テレビを消して落ち着いた生活をしたりすることが大事であると思います。子供の顔を見ると何かしら言ってしまいそうになるのであれば、大人のほうが散歩に出かけるのもよいでしょう。

(9)このようにして、できる限りお子さんとのトラブルを避けることを、受験生をお持ちの方には特にお願いたします。そして、受験生の皆さんは、受験生としての自覚をしっかりと持って、親に心配をかけないようにきちんと勉強していただければ、こんなに有難いことはないと思います。

(10)また、大学入試センター試験は1月中旬に行われます。これを受ける方に遊んでいる方はいないと思いますので、高校3年生や浪人生のお子さんに向かって「勉強はどうしたのだ」などと絶対に口にしないほうがよいと思います。温かく見守りながら何も言わない、元気なあいさつはしてあげる。これも親としての教育の1つですので、どうかよろしく願いたします。

2. 受験生の過ごし方

(1)受験生の皆さんは睡眠時間以外は勉強に励んでいただきたいと思います。大学受験生であっても6～7時間ぐらいの睡眠時間は必要ですので、これはくれぐれも確保して下さい。夜の睡眠時間が短い場合は、昼寝をおすすめします。また、20～30分間ぐらいの食事時間、トイレの時間、入浴の時間も健康を維持していく上で欠かせませんので、ぜひ大事にして下さい。

(2)それから、歯が痛いとお勉強どころではなく、本番でそのようなことになると実力が発揮できません。歯医者さんは年末になると休診になりますので、虫歯のある方は早めに予約をして治療を受けておいたほうがよいと思います。ぜひ、願いたします。虫歯以外にも気になることがあれば、早目早目にお医者さんに看てもらって下さいね。

また、多くの方が、学習塾や予備校などが行う冬期講習会に出ると思います。その方たちにお願したいのは、テキストの予習と復習をしっかりとっていただきたいということです。

(3)予習をするときにまず行ってほしいことは、わからないことばの意味を辞書で調べることです。それから、重要な問題は自分でやってみて下さい。

(4)予習はもちろん大事ですが、それ以上に大事なのは復習です。せっかく講習会に出て、先生のお話を聞いてよくわかって、その瞬間に忘れてしまうこともたくさんあります。ですから、学習塾や予備校などの先生の顔を思い出しながら、ぜひ1回だけは講習会のテキストをやり直して下さい。復習のときもわからないことばがあったら辞書を引いて調べ、また、各科目の用語集や参考書、学校の教科書を開いてじっくりと読み、「ああ、これはこういう意味だったのか」ともう一度勉強し直して下さい。調べた内容はノートにメモをし、そのノートはスミからスミまで覚えてしまうことも得点アップに直結します。それから、問題の直しもして下さい。また、どこの学習塾も予備校も、講習会のテキストは厚めに作っています。講演会の授業中に全部を終わらせることはありませんから、余裕のある方は講習会でやらなかった問題を自分の力で独力でやってみるとよいと思います。これが、講習会の一番よい受け方です。

(5)繰り返しますが、北関東の多くの私立高校では1月4日から学業特待入学試験が始まります。大学入試センター試験は1月中旬に実施されます。ですから、中学校3年生・高校3年生・浪人生の受験生の皆さんは、今年のクリスマスやお正月は自分にとって身近なものではないのだ・楽しいことは入学試験が終わってからだと思っていただいて、受験勉強を集中して行って下さい。睡眠と食事、トイレ、入浴以外の時間はすべて勉強にあて、できれば1日15時間以上は勉強に集中するように頑張ってくださいね。お願いいたします。